



山中湖の湖底堆積物から明らかとなった富士山噴火史 ——5050～3900年前の未知の噴火を新たに6つ発見——

発表のポイント

- ◆山中湖の湖底堆積物から過去8000年間の富士山の噴火履歴を復元
- ◆富士山北東麓では5050年前から3900年前にかけて、未知の噴火が少なくとも6回発生
- ◆過去の富士山の火山活動を評価する上で、火山防災上重要な新知見



山中湖から望む富士山

発表概要

東京大学大気海洋研究所の横山祐典教授、山梨県富士山科学研究所の山本真也主任研究員らによる研究グループは、山中湖の湖底及び湖畔から採取した過去8000年に及ぶ堆積物の放射性炭素年代測定を行い、過去の噴火で噴出した富士山の降下火砕物（テフラ）の詳細な堆積年代を明らかにしました。更に、過去に論文等で報告されたテフラの堆積記録との比較から、富士山北東麓では5050年前から3900年前にかけて、これまで報告されていない噴火が少なくとも6回発生していたことが明らかとなりました。本研究の成果は、従来の研究がこの時期の富士山の火山活動を過小評価していた可能性を示しており、火山防災上重要な新知見となるものです。

なお、研究成果をまとめた研究論文は、エルゼビア社の国際学術誌 *Quaternary Science Advances* に令和5年6月30日に掲載されました。

▼詳細は、プレスリリース掲載ページにてご確認ください。

プレスリリース

<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/research/news/2023/20230630.html>



発表者

東京大学大気海洋研究所
横山 祐典（教授）
宮入 陽介（特任助教）

山梨県富士山科学研究所
山本 真也（主任研究員）
亀谷 伸子（研究員）
吉本 充宏（研究管理幹）

論文情報

〈雑誌〉 Quaternary Science Advances
〈題名〉 Eruptive history of Mt. Fuji over the past 8000 years based on integrated records of lacustrine and terrestrial tephra sequences and radiocarbon dating
〈著者〉 Shinya Yamamoto*, Nobuko Kametani, Mitsuhiro Yoshimoto, Yosuke Miyairi, Yusuke Yokoyama
〈DOI〉 <https://doi.org/10.1016/j.qsa.2023.100091>
〈URL〉 <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2666033423000230>



問合せ先

東京大学大気海洋研究所 海洋地球システム研究系 海洋底科学部門
教授 横山 祐典（よこやま ゆうすけ）
E-mail : yokoyama◎aori.u-tokyo.ac.jp

山梨県富士山科学研究所
主任研究員 山本 真也（やまもと しんや）
E-mail : s.yamamoto◎mfri.pref.yamanashi.jp

※アドレスの「◎」は「@」に変換してください。